



# 挑戦から前進 夢のある未来へ

ふたかわ  
英俊  
ひでとし

〒312-0033 ひたちなか市市毛1077 TEL: 029-273-6826 FAX: 029-276-6606  
E-mail: futakawa\_hidetoshi@mocha.ocn.ne.jp  
URL ▶ <https://www.futakawa-hidetoshi.net>



## 令和2年度 第1回定例会開催

茨城県議会 令和2年度 第1回定例会が2月27日から3月24日までの会期で開催され、令和2年度当初予算（減額修正有）、補正予算（追加）、令和元年度補正予算（2件）が可決承認されました。

今回は、決定した予算と主な事業の概要について報告します。本年度の当初予算は、昨年の台風被害に対応する災害関連事業の計上や、これまで行ってきた新たな取組みに更なる磨きをかけ、政策を大きく前進させるものとして、当初予算として1兆1,632億1,900万円（過去最大）が計上されました。しかしながら、予算案件のうち生活環境費、生活文化費に計上されたアクアワールド茨城県大洗水族館整備事業について、常任委員会にて否決、予算特別委員会にて減額修正案が議員側より提案された後、修正案を可決しました。本事業については知事の積極的な施策展開について理解を示すものの、巨額投資に対する計画の不透明さや周辺環境の整備見通し等について更なる検討が必要と考えた上での修正案可決となりました。

また、現在世界的に猛威を振るっている新型コロナウイルス対策として国の方針を踏まえた必要な事業について追加提案がなされ、当初予算の補正及び昨年度予算の追加補正が承認されました。

一方、これまでの施策を更に前進させるものとして、4つのチャレンジに分類しそれぞれの中で積極的な施策展開が提案されています。常に選択と集中を意識し、効果検証を絶えず行っていく中で見直されている事業や追加される事業も多く、新たな課題に対しても積極的に挑戦する姿勢が伺える予算となっています。（事業については後述）

このような中、新型コロナウイルス対策の強化について県民フォーラム会派として、3月4日に緊急要望書を知事に提出し、万全の対策を求めました。



### 令和2年度茨城県当初予算（減額修正、追加補正含む）

会計名	予算額（減額後）	対前年比(%)	追加補正
一般会計	1兆1,629億1,700万円	+2.4	72億8,900万円
特別会計	5,655億2,700万円	▲5.6	—
企業会計	1,101億3,700万円	▲0.1	—
計	1兆8,385億8,100万円	▲0.1	72億8,900万円

### 一般会計の特徴点

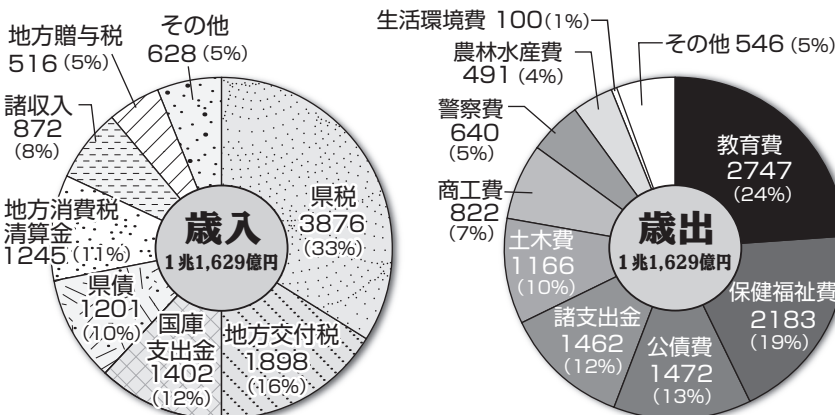
一般会計は前年度当初予算と比べて+2.4%で当初予算規模としては過去最大の歳出規模となっています。

歳入では、県税収入総額は企業収益の減等による法人事業税等の減が見込まれるものの、地方消費税の増により+0.1%の増加。地方交付税は+2.1%で震災復興特別交付税は関連事業の減により減少しているものの臨時財政対策債（▲6.9%）を合わせた実質的地方交付税は前年度比+1.1%となっています。県債の発行額は公共投資等に充てる県債や退職手当債の増により+2.3%となるものの県債残高は昨年度末見込みと比較し147億円の縮減となります。

歳出では、義務的経費は人件費が退職手当の増などにより+1.7%、公債費は過去の高利率の県債残高の減少により利子が減少することにより▲0.2%となり4,971億円(+1.1%)となっています。投資的経費については国の「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」を活用し安心安全の確保を一層推進するとともに、県単公共事業として通学路等の安全対策や道路・堤防の補修、防災インフラ整備を推進するため、1,598億円(+5.8%)となっています。

### 一般会計の構成

単位:億円



## 令和元年度補正予算(最終、追加補正含む)

会計名	補正額	追加補正	補正後計
一般会計	▲ 196億500万円	8億2,600万円	1兆1,724億7,600万円
特別会計	▲ 65億6,600万円	—	5,886億5,200万円
企業会計	▲ 7億8,900万円	—	1,108億8,000万円
計	▲269億6,000万円	—	1兆8,720億 800万円



## 条例の制定・一部改正

- ・茨城県行政組織条例の一部改正
- ・茨城県立県民文化センターの設置及び管理に関する条例の一部改正
- ・茨城県食品衛生法施行条例の一部改正
- ・茨城県公営企業の設置等に関する条例の一部改正（水道事業の統合）
- ・学校以外の教育機関の設置、管理及び職員に関する条例の一部改正（女性プラザの廃止） 他23件

## 令和2年度の主な事業と予算

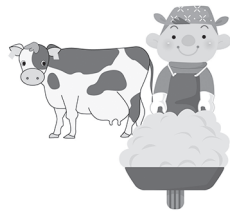
### I 新しい豊かさへのチャレンジ

#### 1. 高い技術力を持った企業や研究機関が集積する県北地域の産業競争力を強化

- **県北地域牽引産業・中核企業創出事業 4,000万円**  
地域外企業や大手企業との取引の中心となる県北地域の販路開拓等を支援

#### 2. 常陸牛を世界トップブランドに育成するための一貫した生産体制を構築

- **優良繁殖和牛群整備対策事業 1億5,500万円**  
優良な繁殖雌牛の増頭や獣医師による繁殖コンサルティング等を支援



#### 3. 新たなビジネス展開や生産性向上を志す経営者を対象とした研究会の設置

- **茨城経営者育成事業 1,500万円**

#### 4. その他

- ① 陸上養殖産業の創出にチャレンジするための調査・検討の実施 **800万円**
- ② 外国人材の確保に向けた就職マッチング機能の強化 **1億700万円**
- ③ 大手企業人材のセカンドキャリアへの誘導と県内企業とのマッチング支援 **8,300万円**



### II 新しい安心安全へのチャレンジ

#### 1. 医師をめざす方への支援を通じた医師確保の推進

- **医師修学資金貸与事業 7億8,600万円**  
医師修学資金の貸与及び海外医科大学卒業生を対象にした支援

#### 2. 障害者が地域で安心して暮らすための支援体制を整備

- **あすなろの郷再編整備関連事業 9,300万円**  
あすなろの郷再編整備に向けた用地造成及び既存施設の解体設計

#### 3. 国土強靱化3か年緊急対策に対応した防災・減災対策を推進

- **公共事業（国土強靱化3か年緊急対策関連分） 122億3,600万円**



#### 4. その他

- ① 医療機関への「遠隔画像診断治療補助システム」等の導入支援 **3,100万円**
- ② 地域猫の不妊去勢手術への支援や適正飼育指導員による監視及び指導 **2,700万円**

### III 新しい人材育成へのチャレンジ

#### 1. 中高一貫教育校におけるICT環境の整備により「学びの質・効率性」を向上

- **県立学校先端技術活用教育推進事業 1億700万円**  
1人1台端末を活用した授業環境整備、遠隔教育環境や学習支援アプリの導入など



2. 国際社会で活躍できる人材を強力に育成

**外国語指導助手招致事業 2億4,200万円**

県立高等学校等への外国語指導助手(ALT)の配置を大幅に増加



3. 就学前の子どもの家庭養育原則を踏まえ、里親委託を強力に推進

**里親養育包括支援事業 5,800万円**

里親リクルートや委託後の里親家庭への訪問支援等を大幅に増加

4. その他

- ① SNSの活用等によるいじめ対策の強化 **3,800万円**
- ② 中高生を対象としたトップレベルのプログラミング・AI人材の育成 **4,500万円**
- ③ 県立図書館におけるカフェスペース設置のための改修工事 **6,800万円**

**IV 新しい夢・希望へのチャレンジ**

1. 東日本で唯一ジンベイザメが見られる水族館を整備

- ① **アクアワールド茨城県大洗水族館新館整備事業**  
3億4,700万円 → 4,500万円(修正)

「ひたちなか大洗リゾート構想」の中核施設であるアクアワールド・大洗の新館整備に向けた施設設計、ジンベイザメの捕獲等 → 修正案可決により事業に係る調査費のみ



2. 世界的なスタートアップイベント等の誘致により、企業・創業の拠点都市を形成

- ① **スタートアップ・エコシステム拠点都市推進事業**  
**4,000万円**

「Venture cafe (若手起業家交流)」によるイノベーション創出支援プログラム・イベントを継続的に提供

3. その他

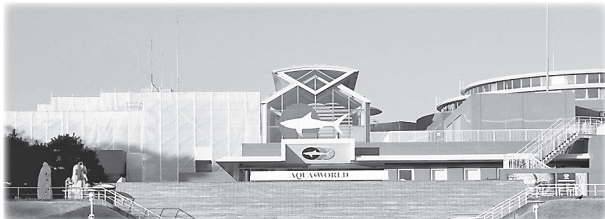
- ① 県北地域におけるロングトレイルコースの整備・プロモーション等の推進 **4,300万円**
- ② 県民の森及び県植物園の魅力向上に向けた計画の策定 **2,000万円**
- ③ 企業等と連携した県産品販売イベントを都内で開催 **1,900万円**

**常任委員会**

令和2年度は防災環境産業委員会に所属し、委員会活動を行っています。第一回定例会における委員会において実施した質問に関し、一部抜粋し紹介します。

**1. アクアワールド・大洗新館整備事業について**

**Q** 本事業については個別の施設計画なのか、リゾート構想における計画なのか？



**A** リゾート構想については、これ迄に個別に動いてきたものを一体的にし、魅力を深めるための方向性を示しているものである。水族館でもこの構想で示されたコンセプトの方向で整備を進めていきたい。

**Q** 集客力のある施設は交通渋滞をはじめ、周辺にも大きな影響を及ぼすことが想定される。その影響力を想定・分析し、対策を用意しなければ地域の発展にはつながらない。本事業はリゾート構想の推進協議会で協議されたものなのか？

**A** 具体的な議論は今後になる。渋滞対策で言えば水族館限定ではなく広域の枠で議論していきたい。

**Q** 収支の見通しについて現在の大洗水族館の地方債の残額を含めてシミュレーションしているのか？

**A** 残債は50億円程度あり、当時においては投資した資金を回収するスキームは持っていなかった。今回の深海事業においても投資した資金を県が回収するスキームをどのように行うかは県の中で詰めておらず、現在では黒字になれば返すことが可能という考えにとどまる。



収支計画については残債と新規債務を切り離さずしっかりと考えていただきたい。また、大きな計画として地域をまたがる場合、協議できる場でしっかりと進めるべきと考えるため、リゾート構想推進協議会での協議をお願いします。

## 2. 事業継続力強化支援計画 推進事業について

**Q** 「事業継続力強化支援計画」の前に、万が一の災害等に備えBCP（事業継続計画）を策定することが重要と考える。これまで県においてはBCP策定支援をしていたと思うが状況はいかがか？



**A** 民間調査会社によると県内策定率は15.8%で全国平均は15%、2019年度版の中小企業白書では全国で16.9%となっている。

**Q** 新規事業ではBCPの作成支援体制をそれぞれの自治体で作ることをめざすものとする。県では本年1月に事業継続力強化支援計画のガイドラインを公表しているが、県内自治体、商工会などから相談はあるのか？

**A** 相談は受けている。これから、新規事業によりBCPの普及啓発や策定支援、その体制作りを進めていきたい。

**Q** BCPの策定は、昨今自然災害が多発する中において重要である。また、現在世界的な拡がりを見せる感染症について、それらに対する観点を加えていく必要があると考えるがいかがか？

**A** BCP策定時や見直しの際に、感染症対策の観点を加えることは必要と考える。今後開催するセミナー等においては自然災害のみならず、感染症を含めた内容を盛り込むよう進めていきたい。

## 3. 未来産業基盤 強化プロジェクトについて

**Q** 県内工業団地については価格の見直し等を行い、積極的に取組んできたが分譲中の工業団地に関する認識はいかがか？



**A** 工業団地については交通アクセスが最も重要であるとする。北関東道の開通や常陸那珂港区の整備充実などにより笠間地区などは売却が進んでおり、引合いも増えている。一方、北浦や茨城空港テクノパークに関しては厳しい環境にあると考えている。

**Q** 常陸那珂工業団地のように売却が完了し、新たな開発が必要な地域もあると考える。市町村の計画を支援する未来産業基盤強化プロジェクトの地区選定の状況は？

**A** 市町村の新規開発構想等の調査を行ったところ、17市町村から該当ありの回答があった。現在、関係課とともに市町村ヒアリングを行い計画のブラッシュアップに取り組んでいるところであり、地区選定には至っていない。



工業団地の売却が完了した地域については早期に新たな事業が進むよう、市町村と連携し取組んで欲しい。

## 編集後記 ～チェック機能としての役割をしっかりと果たしていきたい～

令和2年度第1回定例会が閉会し、当初予算が可決承認された。本定例会では提出された予算の一部に対し、早急に実施するのではなく、しっかりとした準備・検討が必要との考えで減額修正がなされた。県民フォーラム会派としても委員会で問いただすとともに、大規模計画時における周辺への影響等を考慮し議論が不十分と考える、修正案に賛成したものである。積極的な施策展開は必要だが、拙速な計画とならないようチェック機能としての役割を今後とも果たしていきたい。

新型コロナウイルス感染症が世界的に猛威を振るう中、本定例会では傍聴者へのマスク着用の徹底やマスク着用での答弁等、他の人への配慮がなされた場面も多いものであった。終息の気配はなく更なる拡がりを見せる感染症だが、個人でできる予防対策と行政主導の対策等、あらゆる事態を想定し取組むことでこの難局は必ず乗り越えられるものとする。無理せず、異変を感じたら適切な休養をとること、過敏になりすぎず正確な情報と適切な対応を心掛けたい。(F)